

企画名： 「地球一周で出会った北欧の社会と、これからの日本の暮らし」  
実施日時： 2012年1月15日(日) 10:00～11:30  
実施場所： パシフィコ横浜会議センター3F 311+312  
登壇者： 瀬古昴、松森愛、荻原千晴、坂野友美、丸藤健悟、野元由実、佐藤愛  
(ピースポート74回クルーズ 未来チーム)  
参加人数： 約60名  
文責： 瀬古昴 (ピースポート74回クルーズ 未来チーム)

私たちが伝えたかったのは、国際交流 NGO・ピースポートの主催するクルーズを通じて北欧の社会を訪れたときのワクワク感、そして「私たちにもやればできる！」という実感。そして、これからそれぞれが住みたい社会をつくっていくための「つながり」でした。

本企画では、まずデンマークやスウェーデンなどの先進的で素敵な社会で得た知識や感じたことを発表形式で共有し、その後、参加者同士が「話し、聴く」ことでつながりを感じるためのワークショップを行いました。

発表内容については、「世界一幸せな国」と呼ばれるデンマーク・コペンハーゲンの風力発電などの再生可能エネルギーへの取り組みや、スウェーデンで訪れた、エネルギーを自給しながら豊かな暮らしをしているエコビレッジ、先進的環境教育の現場、自然豊かな未来型のエコシティーなどの紹介、さらに私たちの想いをまとめたムービーの発表でした。

また、ワークショップでは、「じっくり話し、聞く」をテーマに、「3.11後に感じたこと、考えたこと」「私たちがこれから住みたい社会をつくるためにできること、したいこと」というトピックで、参加者同士の語り合いの場をつくりました。ここでは、参加者それぞれがこれまで感じてきたこと、もしかしたら周りに受け入れられずに口に出せなかった放射能や原発への不安などをアウトプット（吐き出す）場としたいという思いがありました。と同時に、未来に向けた考えを共有し、刺激しあい、つながりを感じられる場にしたいという思いもありました。同じことを考えている仲間がいるということは、勇気を与えてくれるし、歩みだすきっかけになると思うからです。

会場には、過去にピースポートのクルーズを体験された方や、水先案内人（各界で活躍され、船内で講演やワークショップを行う方々）として乗船されていた方が約半数。なんとデンマークで私たちが話を伺ったソーレンセン氏もいらしていました。あとの半分は、個人で何らかの活動をしていたり、学んでいたりといたかなり意識の高い参加者が多かったように思います。

参加者の感想を聞いていると、私たちが地球を一周しながら感じたワクワク感、「私たちにもやればできる！」という実感、つながり、そして未来への希望を、共有できたのではないかと思います。とても嬉しくなりました。

